

2025 年 11 月 14 日

報道機関 各位

ドキュメンタリー『ウェイズ・オブ・ノウイング：ナバホの核の歴史』

日本初公開巡回中、長崎大学で上映会と講演を開催

ナバホの長老サニー・ドゥーリー氏が語る ウラン採掘がもたらした土地と暮らしへの影響

1940 年代初頭から 80 年代にかけて、原子爆弾の開発に伴い、アメリカ南西部の先住民族の土地では大規模なウラン採掘が行われました。採掘開始から 80 年が経過した現在も、残された鉱山や核廃棄物がコミュニティや生態系を脅かし続けています。

このたび、アメリカ最大の先住民居留地であるナバホ・ネーションにおける「核」をめぐる歴史を取材して制作されたドキュメンタリー映像『ウェイズ・オブ・ノウイング：ナバホの核の歴史』(25 分)を上映いたします。本作品は日本初公開であり、広島・長崎・東京を巡る日本ツアーの一環として上映されるものです。

当日は、プロデューサーであり核政策研究者でもあるラブリー・ウマヤム氏と、ナバホの長老であり語り部として活動するサニー・ドゥーリー氏が来日し、上映後に講演を行います。

本上映会は、長崎大学環境科学部の専門科目「環境社会学Ⅱ」(科目責任者：友澤悠季)において実施しますが、貴重な機会ですので、ぜひ一般の方にもご来場いただきたく、お知らせいたします。

なお、取材を希望される場合は、11 月 21 日(金)までに下記お問合せ先へメールにてご連絡くださいますようお願いいたします。

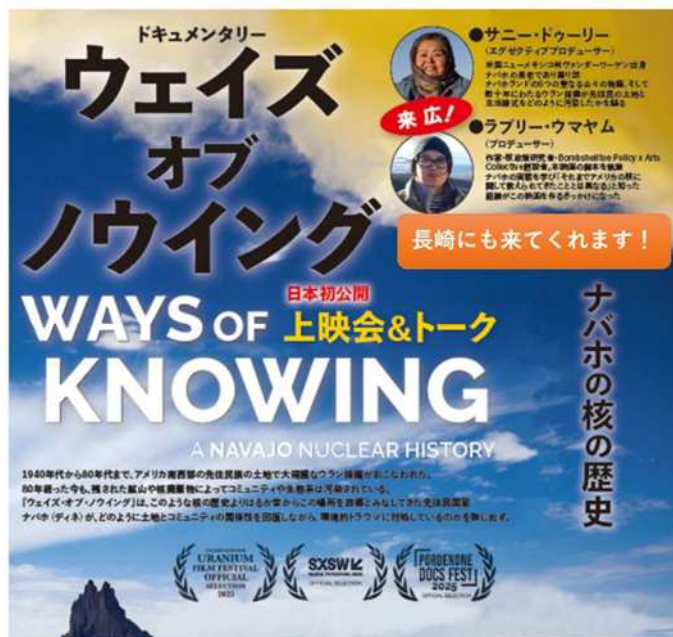
2025年
11/28 (金)
14:30-16:00

長崎大学文教キャンパス
教養教育A-21講義室

- 入場無料
- プロデューサー来日
- 日本初公開
- 日本語字幕あり
- 上映後、トークあり

【お問い合わせ】

友澤悠季 (長崎大学環境科学部)
ytomozawa@nagasaki-u.ac.jp



記

- ❖ タイトル:ドキュメンタリー『ウェイズ・オブ・ノウイング:ナバホの核の歴史』
- ❖ 日時:2025 年 11 月 28 日(金)14:30 開始 16:00 終了
- ❖ 場所:長崎大学文教キャンパス 全学教養教育棟 A-21 教室
(長崎大学正門から入り、時計のある建物＝環境科学部棟の正面玄関に入って、右手の階段またはエレベーターで 2 階に上がり、左手に廊下を進んでいくと A-21 教室です)
- ❖ 参加費:無料(事前申込不要)
- ❖ 通訳:あり
- ❖ 内容(予定)
 - ・作品紹介(10～15 分)
 - ・上映(25 分間)
 - ・アフタートーク(30～40 分)
 - ・質疑応答(10～15 分)

【A-21 教室】環境科学部棟の正面玄関
に入って、右手の階段またはエレベーター
で 2 階へ上がり、左手に廊下を進む



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学環境科学部准教授 友澤悠季

E-mail : ytomozawa@nagasaki-u.ac.jp